

製品名: FADD (リン酸化 Ser194) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04654**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	FADD FADD; MORT1; GIG3; Protein FADD; FAS-associated death domain protein; FAS-associating death domain-containing protein; Growth-inhibiting gene 3 protein; Mediator of receptor induced toxicity
別名	
遺伝子 ID	8772.0
SwissProt ID	Q13158
免疫原	抗血清は、Ser194 のリン酸化部位周辺のヒト FADD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 159-208

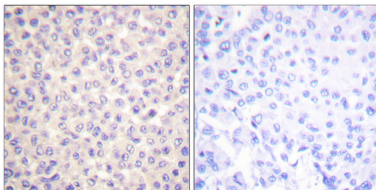
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、様々な細胞表面受容体と相互作用し、細胞のアポトーシスシグナルを媒介するアダプター分子です。C末端デスドメインを介して、このタンパク質は TNFRSF6/Fas 受容体、腫瘍壊死因子受容体、TNFRSF25、および TNFSF10/TRAIL 受容体にリクルートされ、これらの受容体によって開始される細胞死シグナル伝達に関与します。このタンパク質がこれらの受容体と相互作用すると、N末端エフェクタードメインが露出し、カスパーゼ 8 をリクルートすることでシステインプロテアーゼカスケードが活性化されます。マウスを用いたノックアウト研究からも、このタンパク質が初期 T 細胞分化において重要な役割を担っていることが示唆されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン:Fas 受容体内の対応するドメインの結合に関与するデスドメインを含みます。機能:活性化 Fas (CD95) または TNFR-1 受容体にカスパーゼ 8 またはカスパーゼ 10 をリクルートするアポトーシスアダプター分子。結果として生じる凝集体はデスインダクションシグナル伝達複合体 (DISC) と呼ばれ、カスパーゼ 8 のタンパク質分解活性化を行います。活性カスパーゼ 8 は、アポトーシスを媒介するカスパーゼのカスケードを開始します。PTM:リン酸化されています。類似性:1つのデスドメインを含みます。類似性:1つの DED (デスエフェクター) ドメインを含みます。サブユニット:CFLAR、PEA15、および MBD4 と相互作用します。リン酸化されると、HIPK3 および FAS を含む複合体の一部となります。MAVS/IPS1 と相互作用する可能性があります。MOCV v-CFLAR タンパク質および LRDD と相互作用します。組織特異性:末梢血単核白血球を除くさまざまな組織で発現します。、

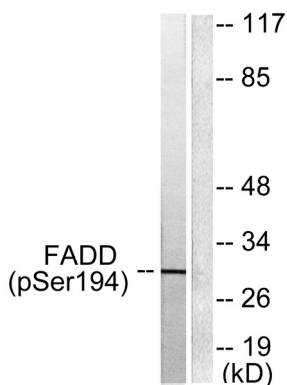
研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;Toll-Like;RIG-I 様受容体;アルツハイマー病;がんの経路;

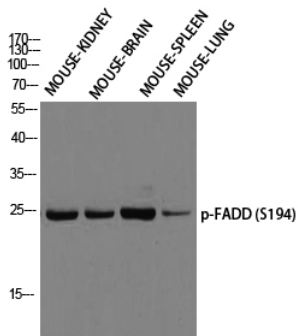
画像データ



FADD (リン酸化 Ser194) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



パクリタキセル 1 μ M 60%処理した HeLa 細胞ライセートの FADD (リン酸化 Ser194) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



p-FADD (S194) 抗体を用いたマウス腎臓、マウス脳、マウス脾臓、マウス肺のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。